

第一回保護者会開催



会場となった明快志塾 萩窪校舎

12月2日 萩窪校舎において

明快新聞



平成二十四年十二月五日発行
編集者 明快志塾 勘定方 濱谷日出喜

明快志塾では、去る十二月二日（日）に、萩窪校舎におきまして、第一回保護者会を開催しました。これは明快志塾となつてからは初めての試みでしたが、多くの保護者の方々にご参加いただきました。誠にありがとうございました。

今後も保護者の方々との交流を目指して保護者会を企画していく予定ですので、よろしくお引き受けください。

まずは保護者会の内容を簡単にご報告します。今回の中学生の保護者の方々を対象とさせていた

だきましたので、主に「高校受験に役立つ情報をお伝えする」ことをテーマにいたしました。

「高校入試概要を説明

最初に、「私立高校入試」「公立高校入試」に分かれる入試システムの基本的な説明をさせていた

だきました。

次に詳しく「私立入試」

新規入試を紹介します。

池原宏希先生の自己紹介です

生徒のみなさん、こんにちは。そして保護者の皆様、はじめまして。

池原宏希（いけはら ひろき）と申します。今年の7月から明快志塾で主に英語を担当しています。外見からでしょうか、日本にいても海外にいても実年齢より若くみえるようですが、生徒のみなさんは、今度教室で私を見かけたら、何才かあててみてください。

これからどんどん寒くなつていきますが、体調に気を配りながら学習に臨みましょう！（池原先生・文）

の「単願推薦」「併願推薦」の合格の目安や「一般人試」の最近の傾向を示しました。「都立入試」では「推薦入試」において内申書の割合が変更になつたことと、その結果重視されるであろう当日試験について説明しました。「都立一般入試」の採点基準の説明もさせていただきました。

加えて最近急増の「普通科」以外の「総合学科」や「専門学科」の説明や、「単位制」「コース制」「定期制」などの履修形式の説明も示しました。

ついましては、保護者会で扱つて欲しいテーマや、その他のご要望などありましたら、なんでもけつこうですので、教室までお知らせいただければと思います。

今回の経験を生かしてたとえば、塾生以外の方々も自由参加の無料相談会や、さらには、もっと違う形での保護者交流の場の提供も検討しておりますので、是非ご期待ください。

地域密着の弊塾ならではの情報提供だと自負しています。

今後にも乞う期待

このように、今後も保護者の皆様にむけて、より役立つ情報の提供を目指して、そして、明快志塾の個別指導の教育方針をご理解いただけるようひきつづき保護者会を開いていく所存です。

つままり、自分が読んだ名文の書き手になったつもりで、書くように感じ、名文と同じような文章の書き「ちょっとと氣取つて書け」を実行してみる。

文を見つけたなら、話の持つていき方に注目して何度も読んでみる。するとなぜ書き手の意図が伝わりやすいのか、なんとなくわかるはずだ。

背伸び本のすすめ

『文章読本』丸谷才一

第一回

第一に「見たよ」うに書くのではなく、「書くように見ろ（感じろ）」というも

の。文章とはそもそも、書く（感じ）ることである。この書き方の形式に正しく伝えるには有効な書き方といいうものが使えることが目的であり、正しく伝えるには有効な書き方といいうものが、読む人に正しく意図を伝える。この書き方の形式に沿つて感じることができれば、おのずと説得力のある文章が書けるというわけである。

書き方の形式は、第一の秘訣「名文を多く読め」で身につける。名文とはこの場合、読んでいて書き手の意図が鮮やかに伝わる文章のこと。だから名文は、人それぞれ違う。自分にとつての名



『文章読本』 中公文庫